

「肩関節拘縮の評価と運動療法」 正誤表

最終更新日：2013年11月12日

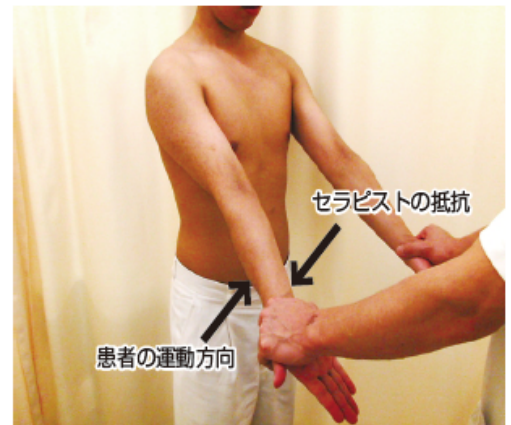
「肩関節拘縮の評価と運動療法」 第1版第1刷(2013年6月10日発行)に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、ここに訂正いたします。読者の皆様にはご迷惑をおかけします事を深くお詫び申し上げます。

ページ	該当箇所	誤	正
53	図2-11 解説2行目	外転80～	外転 60 ～
57	図2-14 解説 Lift-offテスト2行目	その位置から離すことが可能なら陰性、できなければ陰性とする。	その位置から離すことが可能なら陰性、できなければ 陽性 とする。
57	図2-15 写真	Yergasonテスト、Speedテストの矢印の向き	下の写真を参照
59	図2-17 1行目	Quadrilateral space syndrome(QLS)	Quadrilateral space (QLS)
99	図5-10 写真a	前部線維	上部 線維
99	図5-10 写真b	後部線維	下部 線維
108	図5-21 解説 a:	a:胸椎・腰椎前腕位、骨盤前傾位では…	a:胸椎・腰椎前 弯 位、骨盤前傾位では…
122	図5-41 解説	鳥口腕筋の圧痛は、鳥口突起付着部と腹筋中央部の筋皮神経が貫通する部位で認めることが多い。また、鳥口突起下での圧痛も比較的多い。 鳥口腕筋の圧痛の評価は、上腕二頭筋短頭との共同腱の内側部を触診し、肩関節外転位のまま内旋方向に誘導すると、緊張するため圧痛部位が確認しやすくなる。	上腕三頭筋長頭の圧痛は、関節下結節付着部と近位部にかけて認めることが多い。 上腕三頭筋長頭の圧痛の評価は、肩甲骨下結節を触診し、肘関節屈曲位のまま肩関節を屈曲方向に誘導する。すると、腱のレリーフが明瞭になり、圧痛部位も確認しやすくなる。
128	図5-47	棘上筋後部線維のストレッチング	棘下筋 上部 線維の リラクセーション
130	写真右上	肩関節の屈曲・外転	肩関節の 伸展 ・ 内転
130	写真左下	肩関節の伸展・内転	肩関節の 屈曲 ・ 外転
177	図6-15 解説 1行目	耳垂と肩峰は床面上に	耳垂と肩峰は 垂直軸上 に
181	図6-19	上後方支持組織の着剥離操作	上後方支持組織の 癒着 剥離操作
182	図6-20 写真右下	肩関節を屈曲・外転・外旋方向に	肩関節を屈曲・外転・ 内旋 方向に
194	図7-10	Oblique tranclationの理論	Oblique trans lationの理論
196	③前下方関節…本文4行目	…マイナスで表記する。下方関節包	…マイナスで表記する。 前 下方関節包
198	⑥後下方関節…本文4行目	…マイナスで表記する。下方関節包	…マイナスで表記する。 後 下方関節包
200	図7-17	前上関節包・SGHL…	前上 方 関節包・SGHL…
201	図7-19	前下関節包・AIGHL…	前下 方 関節包・AIGHL…

57 図2-15 (正)



Yergason テスト



Speed テスト